

2月議会・議案質議(2月25日) 岡田ゆき子議員

サイエンスパーク  
の塩漬け土地

# 市民に破綻のツケを回すな

2月25日の名古屋市議会本会議では当初予算に関係のない議案についての質疑が行われ、岡田ゆき子議員が質問しました。

## 破綻の後始末に45億円

一般会計補正予算234億円のうち一般財源は81億円。そのうち45億円が「用地取得にかかる名古屋市土地開発公社への負担金」です。これは、土地開発公社所有のサイエンスパークBゾーン2街区を、教育委員会の購入予定の「歴史の里」の保留地と仮換地変更し、土地開発公社から、65億円余で買い戻すため、地価相当額の20億円余を教育委員会、残りの45億円余を市民経済局が負担するものです。

## 誘致のめどもないまま土地を取得

サイエンスパークBゾーンは、1989年に名古屋工業大学を誘致することを決め、土地開発公社で土地の先行取得を開始。しかし、2001年に誘致を断念し、構想自体は破綻しました。この時点で、Bゾーンの計画を撤回すれば、その後の無駄な負担は不要でした。

ところが、その後も2003年に「なごやサイエンスパーク事業推進会議」の提言を受け、整備方針を見直しましたが、はっきりした方針も示さず、整備目標を2014年と11年も先送り。

## 早くから見直し求めた共産党

岡田議員は「2001年も2003年も事業化の断念を決断する機会だった。日本共産党は、事業を撤回し、地元住民の合意による土地の有効利用を検討し、利用計画が立たない場合は売却処

分も検討をするよう、本会議や委員会でも求めてきた」ことを明らかにし、「借金して土地を先行取得し、地価が下がって45億円の税金を市民のために使うこともなく、無駄に捨ててしまう」と厳しく指摘し、まだ残りの土地も多くあり、さらに負担が増えることにに対し、「国のいいなりになって、事業化の見通しや目的が不明瞭のまま、土地開発公社に先行取得させた責任ははっきりさせるべき」と追求しました。



## 問題を先送りしてきた責任を

局長は「計画が思い通りに進まなかったことは重く受け止めなければ」と答弁。岡田議員は「問題を先送りしてきたことに対して、本当に反省しているのか」とたどし、市長は、「一番楽なのは役所と銀行という問題意識はある。議会と相談しながら了承を得ながらやっていくという仕組みになっ」と無責任な答弁でした。

### サイエンスパークBゾーン

|          | 面積    | 取得した時の金額 | 積上価格<br>(土地開発公社が<br>取得してから<br>の利息等を<br>合算し、市<br>が買う場合<br>の金額) |
|----------|-------|----------|---------------------------------------------------------------|
| 上志段味1街区  | 5.1ha | 59億円     |                                                               |
| 上志段味2街区  | 3.7ha | 45億円     |                                                               |
| 中志段味76街区 | 1.0ha | 31億円     |                                                               |
| 合 計      | 9.8ha | 136億円    | 211億円                                                         |

・Aゾーンは公的研究機関を誘致、Cゾーン(テクノヒル名古屋)は民間研究期間等の誘致をほぼ概成。

| 歴史の里予定地      | 面積    | 現行価格 | 積上価格 |
|--------------|-------|------|------|
| 上志段味117街区仮2番 | 3.3ha | 20億円 | 65億円 |

・市内に200あるといわれる古墳の半数が集まる守山区でも特に多い地域。前方後円墳だけでなく、帆立貝式古墳、円墳、方墳と多様な形式がそろい、しかも、河岸段丘という地形の中で非常に良い状態で残されているとして、名古屋市教育委員会が保存活用しながら、整備を計画。今回20億円で土地を購入。



請願の受付締切は3月14日(木)

## 民主党の山本議員が離党

・2月25日、民主党市議団の山本議員(緑区)が民主党を離党、一人会派となりました。また、減税日本新政会は新政会に名称を変更。この結果、会派構成は以下になります。

|               |      |
|---------------|------|
| ・日本共産党名古屋市議員団 | 5人   |
| ・減税日本ナゴヤ      | 21人  |
| ・自由民主党名古屋市議員団 | 18人  |
| ・公明党名古屋市議員団   | 12人  |
| ・民主党名古屋市議員団   | 10人  |
| ・新政会          | 6人   |
| ・無所属クラブ・無所属   | 各 1人 |